

■著者紹介

香山 芳範(かやま よしのり)

甲南大学法科大学院法学研究科法務専攻博士課程修了「博士(法務)」

明石市福祉局福祉政策室福祉総務課 主任(社会福祉士)「明石市社会福祉協議会明石市後見支援センターに出向」

龍谷大学社会学部現代福祉学科 非常勤講師

大阪大谷大学人間社会学部人間社会学科 非常勤講師

主要業績

「成年後見の申立手続における費用負担とその範囲—単身高齢者支援事例にみる、成年後見の費用負担についての望ましい取り組み方とは—」『関西社会福祉研究』第3号, 19~29, 2017年.
「福祉避難所における要配慮者の自立支援のあり方とは—熊本地震における兵庫県派遣職員の体験から—」『社会福祉士』第24号, 22~29, 2017年.

「『成年後見の社会化』における成年後見制度利用支援事業の役割—明石市後見支援センターが支援する高齢者世帯の事例を中心に検討する—」『実践成年後見』77号, 93~100, 2018年.

「後見基金創設に向けたソーシャルアクション—後見基金の機能とその効果—」『厚生福祉』6501号, 10~15, 2019年.

「市民後見人養成システムおよび後見基金—市民後見人が主体性を形成する過程について—」『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』Vol.33, 106~117, 2019年.

主な受賞歴

2019年第26回日本社会福祉士会近畿ブロック研究・研修大会にて近畿ブロック大賞受賞
研究発表「明石市における明石市社会福祉協議会后見基金創設のプロセスについて—成年後見制度利用支援事業の拡大から明石市社会福祉協議会后見基金創設まで—」